

科目名		整形靴理論		授業の種類	講義	講師名	
授業回数	15回	時間数	30時間 (2単位)	配当学年・時期	整形靴科2年		必修・選択 必修

〔授業の目的・ねらい〕

適切な靴の製作には、靴に関する様々な知識が不可欠である。また、整形靴技術者としては、単に靴の知識だけに留まらず、靴の調整方法や、足の変形とそれに対する対応方法の知識が不可欠である。本講義では、1年次に履修した靴材料学、靴専門知識、靴材料学を発展させ、具体的な足の疾患に対する整形靴の理論について学ぶことを目的とする。

〔授業全体の内容の概要〕

整形靴概論、整形靴の製作と材料、様々な疾患への対応方法を主要テーマとして講義を行う。それぞれの回に学んだことに関しては次回の講義で小テストを行い、知識の確認をする。講義の最後に試験を行い、その点数をもって評価とする。

〔講師の実務経験〕

義肢装具製作所である株式会社エヌ・オー・ティーにて医療用の整形靴および足底装具の製作販売、材料管理など関連業務に従事。整形靴の木型製作・製甲・底付け・適合技術、足底装具の製作、材料の知識に精通している。

〔授業終了時の達成課題(到達目標)〕

- ①整形靴とその対応方法についての知識をもつ。
- ②基本的な整形靴の製作工程とそこで使用される材料の選択方法の知識を持つ。
- ③様々な疾患とそれに対する整形靴の製作方法について理解する。

回数	講義内容
1	ガイダンス 整形靴理論概論
2	採型とアライメントの計画について
3	木型の修正と整形靴理論
4	フットベットの製作と整形靴理論
5	アッパーの製作と整形靴理論
6	カウンター、その他のパーツと整形靴理論
7	ソールと整形靴理論
8	足趾の問題と整形靴理論
9	外反足と整形靴理論
10	内反足と整形靴理論
11	リウマチ足と整形靴理論
12	糖尿病足と整形靴理論
13	採型とアライメントの計画について再び
14	左右差への対応
15	まとめ
	定期筆記試験

【 準備学習・時間外学習 】

【 使用テキスト 】

書籍名	著者名	出版社

【 単位認定の方法及び基準(試験やレポート評価基準など) 】

定期筆記試験の成績90点＋小テスト平均10点の100点満点で評価する